

令和元年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立高齢者総合サポートセンター (かがやきプラザ)	所在地	千代田区九段南1-6-10
-----	---------------------------------	-----	---------------

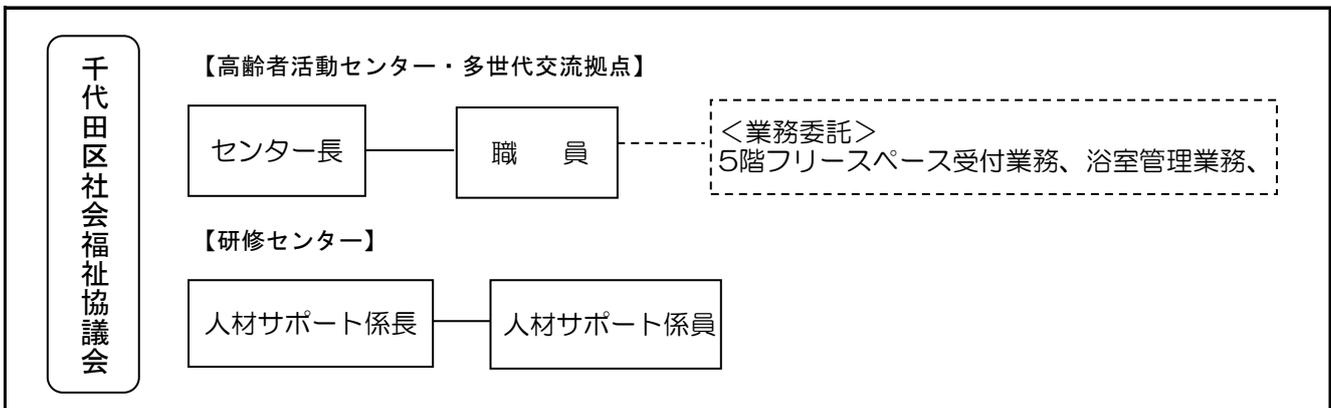
1 指定管理者の概要

名称	社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会	代表者	会長 田邊 恵三
所在地	千代田区九段南1-6-10		
指定期間	平成28年1月1日～令和3年3月31日	報告期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	<p>【高齢者活動センター・多世代交流拠点】 高齢者の各種相談に応じるほか健康の保持・増進、教養の向上、レクリエーションなどの便宜を提供し、高齢者福祉の増進を図るとともに、世代間交流の機会を通じ、地域のにぎわいの創出を図る。</p> <p>【研修センター】 福祉ボランティア、家族介護者、介護・福祉サービス等従事者の育成を目的とした研修事業、介護と医療の連携した効果的なサービス提供のための両分野の人材の相互理解を進める事業、介護・福祉分野への人材参入促進を目的とした事業などを通して、高齢者総合サポートセンターの設置目的である地域包括ケアシステムの推進を行う。</p>
管理業務の内容	<p>【高齢者活動センター・多世代交流拠点】</p> <p>(1) 高齢者活動センター事業に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康維持増進、機能回復訓練 ②教養の向上、レクリエーション ③健康相談、指導等 ④多世代交流事業 <p>(2) 施設・設備の保守および維持管理</p> <p>【研修センター】</p> <p>(1) 次に挙げる講習、講座等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ボランティアの育成と活動支援 ②家族介護者のスキルアップ ③介護・福祉従事者のスキルアップ ④介護と医療の連携づくり ⑤福祉知識の普及・理解促進 ⑥介護・福祉人材の育成と就職・復職支援 ⑦介護カウンセリング <p>(2) 閲覧室の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用開放 ②備品・物品の維持管理

3 管理体制の状況



4 事業実績等

【高齢者活動センター・多世代交流拠点】

ア 利用者数実績

	年間開館日	利用者数		利用登録者数	(内新規登録者数)	浴室		
		一日平均利用者数	浴室開設日数			入浴者数	一日平均入浴者数	
元年度	348日	62,055人	178人	1,329人	(215人)	348日	22,496人	65人

	健康増進			講座等	催し物	団体支援	ふれあいクラブ	ボランティア活動	娯楽室開放ほか	多世代交流	
	健康づくり事業	機能回復訓練	その他健康事業	講座・講習会等	手づくり事業・レクリエーション	同好会・長寿会支援				回数	参加数
元年度	5,579人	973人	18,957人	5,350人	2,300人	3,000人	2,225人	2,107人	21,564人	40回	1,564人

イ 活動事業実績

項目	内容
活動センター事業	<ul style="list-style-type: none"> • かがやき大学説明会（1回、112人）／講習会・出張講習会（153回、5,113人） • 同好会発表会（演芸サークル発表会：384人）（作品展：延べ621人） • 利用者懇談会（6回、222人） • ふれあいクラブ（昼食会：148回、2,202人／研修交流会：1回、23人）
同好会活動支援	<ul style="list-style-type: none"> • 同好会54団体（新規登録同好会 2団体）
長寿会活動支援	<ul style="list-style-type: none"> • 連合長寿会役員会（8回）、長寿会各地区例会（49回、2,214人）、福祉芸能大会（新型コロナウイルス感染拡大で中止） • 広報紙「はくちょう」発行（年2回）
ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> • ボランティア活動（回数594回 活動人数2,107人）
PR活動	<ul style="list-style-type: none"> • 月報「のぞみ」発行（毎月）、高齢者活動センター利用の手引き、同好会の手引き、その他区報・社協だより等

ウ 施設の維持管理業務

- 浴室浴槽管理業務（定期点検含む）
- 5階フリースペース案内受付業務（利用証確認等）

【研修センター】

ア 活動事業実績

(1) 講習、講座等

	開催回数	参加者
ボランティアの育成と活動支援	15回	328人
家族介護者のスキルアップ	7回	148人
介護・福祉従事者のスキルアップ	71回	1265人
介護と医療の連携づくり	13回	277人
福祉知識の普及・理解促進	4回	223人
介護・福祉人材の育成と就職・復職支援	4回	182人
介護カウンセリング	22回	8人
講座等実績計	136回	2431人
(2) 閲覧室利用開放日数	318日	—

5 収支の状況

【高齢者活動センター・多世代交流拠点】

収 入		支 出	
指定管理料収入	91,657,260円	人件費支出	63,975,795円
事業収入	2,169,000円	施設維持管理費支出	19,108,087円
その他収入	496,484円	事務事業費支出	6,762,335円
合計 (①)	94,322,744円	合計 (②)	89,846,217円
収支差額 (①-②)	4,476,527円		

【研修センター】

収 入		支 出	
指定管理料収入	32,442,600円	人件費支出	20,325,953円
事業収入	349,800円	事務事業費支出	13,904,811円
その他収入	0円	合計 (②)	34,230,764円
合計 (①)	32,792,400円		
収支差額 (①-②)	-1,438,364円		

【その他 (1階総合受付業務、諸室貸出業務)】

収 入		支 出	
指定管理料収入	3,340,000円	事務事業費支出	3,400,048円
事業収入	213,000円	合計 (②)	3,400,048円
合計 (①)	3,553,000円		
収支差額 (①-②)	152,952円		

【総計】

収 入		支 出	
指定管理料収入	127,439,860円	人件費支出	84,301,748円
事業収入	2,731,800円	事務事業費支出	43,175,281円
その他収入	496,484円	合計 (②)	127,477,029円
合計 (①)	130,668,144円		
収支差額 (①-②)	3,191,115円		

6 指定管理者による自己評価

	サービス提供に関して	収支に関して
元年度	<p>【高齢者活動センター・多世代交流拠点】</p> <p><分析></p> <p>①かがやき大学では、健康長寿学科を中心に「フレイル予防を意識した講座」を14講座41回実施しました。その中で、「フレイル予防講座（全4回/九段坂病院と共催）」を実施し、医師・歯科医師・管理栄養士・理学療法士に講義いただきました。また麹町と神田の各地区で出前講座を実施するとともに、ウォーキング講座などの外出機会を創出する講座を10講座21回実施しました。</p> <p>②活動センター利用者からの提案を受けて、利用者4名が実行委員となり、会場の装飾や選曲、当日の受付など企画から当日の運営まで利用者主体で「利用者有志によるハロウィンディスコ」を実施しました。今後も利用者のニーズに合わせた事業展開をしていきたいと思っております。</p> <p>③区内企業の協力を得て、薬剤師等による脳年齢計、血管年齢測定、ストレスチェックなどの健康測定会を実施し利用者から好評を得ました。今後も区内の関係機関を図るとともに区内企業・学校などの社会資源を活用し、多様な事業を行っていききたいと思っております。</p> <p>④11月から毎月第二土曜日を「みんなのおうちCiaoさん」の日とし、定例的な多世代交流を図ってまいりました。運営を上智大学と企画運営サポーターに担っていただき、参加者とボランティアとの多世代交流も図りました。今後は、事業の運営を担えるような区民を増やすため、目的に共感したボランティアを募り、定例化し継続的に交流を図ることができるとともに、多世代交流の居場所づくりを検討し、実施していききたいと思っております。</p>	<p>【高齢者活動センター・多世代交流拠点】</p> <p><収入状況></p> <p>収入予算額94,553,000円 収入決算額91,500,854円 執行率：96.8%</p> <p><支出状況></p> <p>歳出予算額94,553,000円 歳出決算額89,846,217円 執行率95.0%</p> <p><分析></p> <p>①長寿会活動支援事業の執行率が35.7%であった。連合長寿会が主催して行う大きな2つの事業（ふれあい福祉まつりと千代田区福祉芸能大会）が、台風と新型コロナウイルスの影響により実施することができなかつたためその支出がほぼなくなりました。</p> <p>②企画運営協力事業の執行率が55.4%であった。新型コロナウイルスの影響で3月に実施を予定していた自主企画ができなかつたこと。また、事業を企画するうえで、使用する物品等について自主的に創意工夫し、レンタル物品等の予算分の支出を抑えることができたため。</p> <p><総評></p> <p>利用者の安全を第一に考えて施設運営を行っていかるとともに、千代田区と連絡を密に取りながら、関係機関や企業・学校等とも連携し、多様な事業を展開していききたい。</p>
元年度	<p>【研修センター】</p> <p><分析></p> <p>①ボランティアの養成 高齢者の生活支援を図るNPOなどの新たな団体による取り組みを推進するNPOの立上げ講座、九段坂病院や医療専門職の協力を得て、高齢者に多い病気のひとつである生活習慣病をテーマに、予防・改善的な活動にかかわるボランティアの養成を行いました。講座終了後は、ボランティアセンターと連携し、活動に向けた支援を続けています。</p> <p>②家族介護者の支援 介護知識と技術を連続6回で学べる介護スクールを開催し、区内配食事業者のお弁当の試食会や排泄ケア、オーラルフレイル等、新たなテーマを取り入れて研修を行いました。</p> <p>③介護・福祉職のスキルアップ研修 専門職として必要なスキルを学ぶ研修として、特に中堅職員の人材育成を強化するために、介護の仕事の魅力の再発見やリーダーに必要な知識を学ぶ研修を実施しました。さらに、医療的ケアのできる介護従事者を養成する喀痰吸引研修、介護支援ロボットの実証事業を実施しました。</p> <p>④医療・介護の連携 医療、介護、福祉の多職種が互いの取り組みや機能を知り、連携や協働を図るための学習会等を開催しました。多職種協働研修では、区の介護現場で起きている8050問題をテーマにとりあげ、事例検討方式による学習を行いました。また、医療職向けの研修では、高齢者の在宅生活の支援に必要とされる知識を3回連続で学べる講座を開催しました。さらに、専門職の横のつながりづくりと学びの場の支援や九段坂病院との共催研修を開催しました。</p> <p>⑤福祉への理解を深める 認知症や看取りをテーマにした映画上映に合わせ、医師や映画監督等をゲストに招き、区内の取り組みや関連テーマへのお話を取り入れ、学びが深まる工夫を行いました。</p>	<p>【研修センター】</p> <p><収入状況></p> <p>収入予算額 34,165,000円 収入決算額 34,042,800円 執行率 99.6%</p> <p><支出状況></p> <p>歳出予算額 37,900,600円 歳出決算額 34,230,764円 執行率 90.3%</p> <p><総評></p> <p>かがやきプラザ内の拠点と連携を図りながら、高齢者の生活支援に関わるボランティア活動の推進を通じた区民の活動参加支援、研修事業を通じた介護・福祉・医療職のスキルアップによる質の高いケアの提供を図ることで、地域包括ケアの担い手の育成を図ります。</p>

元 年 度	<p>⑥介護人材の確保 「区内介護・福祉人材養成校と介護・福祉施設、事業所等の人材育成と就職の一体的な支援」として、養成校の学生に向け事業所が学校へ出張する面接会の他、学生の実習先の調整等の支援を行いました。 東京都社会福祉協議会、ハローワークと連携し、「相談・面接会、福祉の仕事入門セミナー、復職セミナー」を開催し、求職者・潜在資格者等に対し、区内福祉事業所等への就職支援を行い区内介護・福祉施設への就業につなげました。</p>	
元 年 度	<p>指定管理者が所管する高齢者活動センター、多世代交流拠点、研修センターの3拠点は、千代田区の立地を生かした区内企業と連携した事業、九段坂病院や区内医療機関、介護施設・事業所と連携した事業、利用者の声を活かした事業など、創意工夫は評価できる。また、課題となっている高齢者活動センターの利用者の地域偏在について、麴町地区、神田地区に赴いて出張講座を実施するなど、その解決に向けた事業展開を今後も進めてほしい。 3月は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染防止のため各事業を中止した。今後は、従来からの課題に加え、コロナ禍においても持続できる事業展開に向けて、取り組んでほしい。また、協定に定められた区との協議については、必要に応じて区と協議し、課題解決にあたり適切に対応してほしい。</p>	